

美川っ子

R2.2.21 文責 岡田憲明

継続は力・協力も力 なわとび集会

1月の学校だよりでもお伝えしたように、3学期になって全校でなわとびに取り組んでいます。なわとび道場と銘打って、保健体育委員会が計画を提案し、ペアを作って交代で数を数え、励ましあいながら練習に励んできました。保健体育委員会が、その運営を、子どもたちの手で進めてきました。

その成果を発表する場として、体育委員会が主催となり、2月13日（木）になわとび集会を行いました。

まず、体育委員長のあいさつの後、上級者による「なわとびの技」を披露する時間がとられました。難しい技への挑戦に子どもたちの目はくぎ付けです。技の披露後、委員長からその跳び方の工夫についてインタビューです。

このような機会があれば、低学年の子どもたちも、高学年を目標にして練習に取り組むことができます。できる

そして、いよいよ競技の部です。

持久跳び競争

競技の部は、まず持久跳び競争（両足跳び）からスタートです。1～3年生は3分間、4～6年生は5分間の両足持久跳びです。休み時間や体育の時間に練習を積み重ねた成果を発表する場ですが、それぞれが1回限りのチャレンジです。ちょっとしたミスで終わりとなってしまいます。

（人生、何事も大事なところは一発勝負ですが・・・）緊張に包まれての挑戦です。体育館に、「がんばれ」「がんばれ」の声が響き渡りました。応援されることで、普段できないことができたり、大きな力を発揮できたりします。一人で跳んでいるようでも、実は一人の力ではないこともあるのです。（実際に記録を伸ばした人がたくさんいたようです。）

技能チャレンジ

次は、技能チャレンジで

す。1～3年は①かけ足跳び（前後）②あや跳び・交差跳び（前後）③二重跳び、あや二重跳び（前後）の30秒チャレンジ、4～6年は①あや跳び・交差跳び（前後）②二重跳び（前後）③あや二重（前後）の1分チャレンジに分かれて挑戦しました。いくつか種目があって、どの種目を選ぶかは個人に任されていますが、「敢えて難しい技に挑戦する」子どももいたように思います。

「高い目標を掲げて、挑戦する姿勢」をもつことは大切なことです。挑戦しなければ失敗することはありませんが、成功することは決してありません。挑戦しないでできないことと、挑戦して失敗することは同じではありません。

8の字とび競争

8の字とび競争は、なかよし班で1分間に跳んだ回数で争いました。

どの班も声を掛けながら、跳んでいきました。見ている子どもたちからも、とんだ回数を数える声もかきまです。班全員の心をひとつにしなければ回数は増えていきませ

ん。苦手な人の後ろから、「今だ」と声をかける班、背中を押して手助けする班といういろいろでしたが、とにかく全員の協力の結果です。

長縄跳び（8の字跳び）のよいところは、協力し合って力を伸ばすところです。そして簡単そうに見える「跳ぶ」ということの中にいろいろな力が求められます。そして、本人だけの力ではできないことを、「協力」によって乗り越えることができます。しかし、最終的には本人が決断して「一歩を踏み出す」ことができるかどうかです。「〇〇のせいだ」などと言う人が一人でもいたら、力を発揮することはできません。

8の字跳びは、「自分で決める力」「そして、みんなのことを考えて協力する力」を伸ばすことができるとてもよい種目だと思います。続けることで「One for all.All for one.」の気持ちを育てることも可能です。

<持久跳び合格者>

- 1年・小林未怜・永見柚華
- 2年・齋藤彩羽・渡邊凜旺・中村歩我・森本ありさ・松下明星
- 3年・齋藤福太・田畑真那実・大村一護・多原優樹菜
- 4年・長田蘭菜・長田聖菜・米原奈々未・松下翔清
- 5年・大館翼
- 6年・中村晴和・山尾祐斗・佐々井歩夢



<技能チャレンジ合格者>

○かけ足跳び

1年・杉原春輝・小林未怜

2年・米原亜友未・串崎飛鳥

3年・田畑真那実・山尾郁斗

○あや跳び

3年・多原優樹菜・大村一護

6年・右田吉靖

○二重跳び

6年・杉原健斗

地雷除去活動 出前授業

2月18日(火)にコマツ(株式会社 小松製作所)から講師をお迎えして、5・6年生対象にコマツの「地雷除去プロジェクトの出前授業」を行っていただきました。



過去から現在に渡って、世界のいろいろな地域で、戦争や紛争が起きてきました。そういった地域では、紛争時に設置されたり、ばらまかれたりした地雷やクラスター爆弾などが、現在も尚、残っていて、誤って地雷を踏んで被害にあったり、クラスター爆弾を投げて爆発させて被害にあったりすることが多く発生しているそうです。(その被害者には、もちろん子どもも多数含まれています。)

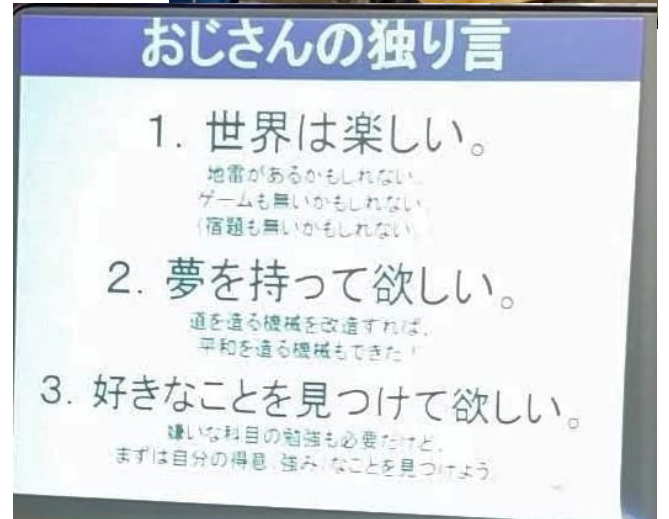


一方で、そういった地雷を除去する活動を行っている方々もたくさんおられます。(イギリス王室の故ダイアナ妃も、精力的にその活動に取り組んでいました。)日本では、JMAS(日本地雷処理を支援する会:認定特定非営利活動法人)がという団体が継続的に活動を行っておられます。また、そのような団体と協力しながら社会貢献活動として、除去活動に取り組んでいる会社がいくつかあり、コマツもその中の一つの会社です。(美川小学校出身の坂根正弘さんも、コマツの社長や会長、相談役などを務めておられました。)今回講師としてお話をしてくださったのは、コマツの建機マーケティング本部・地雷除去プロジェクト室長 柳楽篤司さんです。1年の半分くらいは海外で過ごすとお話をしておりましたが、もちろんそれは地雷除去活動に従事しておられるからです。今も地雷が埋まっていて除去が必要な国はどこか、地雷の種類は、地雷の除去活動の実際は、コマツが協力しておられることは何か、というようなことを順を追って丁寧にわかりやすく、笑いも交えながらお



話をしてくださりました。

この活動で行われていることは、地雷の除去活動ですが、すごいのは、そこで終わるのではなく、道路や学校などインフラの整備まで行って、0からプラスにする活動を行っておられるところです。その後の人生も豊かに送ることができるように整えるということまで考えているからです。(学校をつくることもそうです。)(以前子どもたちにも話をした、アフガンで活動しておられた故中村哲医師も、医療だけでなく、元気になったあとに、豊かに生活できるように、インフラの整備にも携わっておられました。)



最後に「おじさんの独り言」として、3つのことを話してまとめられました。

①世界は楽しい②夢を持って欲しい③好きなことを見つけて欲しいの3つでした。

- ① 大変なこともあるけど、知らない世界と出会えることは楽しい。言葉が通じなくても、英語がしゃべれれば大丈夫。
- ② 夢を持つことができたら、それを現実のものにすることができる。自分にもできた。
- ③ 嫌いなことを克服するよりも、好きなことを伸ばす方が楽しいし、よく伸びる。

世界で、夢を持って活躍しておられる方のお話は、とても、楽しくあつという間の1時間でした。コマツのみなさん、ありがとうございました。

3月の主な行事

- 2日(月) 6年生を送る会
- 3日(火) 新掃除スタート、卒業式練習②
- 4日(水) 5・6年音楽(三味線学習)⑤⑥
卒業式練習②
- 5日(木) SC訪問、外国語活動(ALT)、謝恩会⑥
- 6日(金) 児童総会⑤、クラブ⑥
卒業式練習②
- 9日(月) 卒業式練習②、校外班会⑤
- 11日(水) 卒業式予行練習②
- 13日(金) 大掃除、卒業式前日準備
- 14日(土) 卒業証書授与式
- 15日(日) 美川地域文化発表会(4年生参加)
- 16日(月) 振替休業日
- 17日(火) PTA朝の街頭指導
- 20日(金) 春分の日
- 24日(火) 修了式・離任式
ラブック号

